

2025年7月22日

草津市議会議員 西村隆行様

草津市議会会派 みらいと維新の風
八木良人

視察・研修報告書

1. 内容・日程

7月16日（水）

- ・自治体総合フェア2025・1日目会場視察・セミナー参加
- ・東京大学公開講座全10回・デジタル技術と対話で創る未来 第10回対面講義参加

7月17日（木）

- ・自治体総合フェア2025・2日目会場視察・セミナー参加

2. 参加者

草津市議会議員 八木良人

3. 場所

自治体総合フェア2025・東京ビッグサイト西展示棟
東京大学公開講座・東京大学本郷キャンパス工学部2号館

4. 出張目的

自治体総合フェア2025では、全国の自治体における最新のソリューションや地域共創・地方創生2.0に関する事例等を調査研究すること。

東京大学公開講座「デジタル技術と対話で創る未来」では、5月14日の第1回講義から始まった全10回の講義を受けて、成果発表会に発表者として参加すること。

5. 自治体総合フェア2025について

参加セミナー

自治体DXについて（総務省・自治行政局市町村課 行政経営支援室）

概要

総務省では、地域DXポータルサイトを公開して自治体DXと地域社会DXの両方の側面から地域DXの推進に取り組んでいます。人口減少・少子高齢化社会が進む中、持続可能な地域社会形成には地域DXを推進することが重要であり、行政のデジタル化・DX人材育成、地域課題解決の事例公開によって、各地域におけるDX推進をサポートしています。

考察

草津市においても行政DXの推進は喫緊の最重要課題と考えられます。マイナンバーカード利用の住民票等の発行や、一部申請のオンライン化など対応していますが、そのスピードは非常に遅く、デジタル社会に取り残される心配があります。また、地域におけるDXはほとんど進んでおらず、長年同じ地域課題（地域活動の担い手不足・地域住民のつながりの希薄化など）の解決も進んでいません。政府



の掲げる地域 DX を参考に、先進地での各分野での成功事例を草津市でも取り入れることが急がれると感じました。

東京大学公開講座・デジタル技術と対話で創る未来について

概要

本講座では、テクノロジーを活用して市民自らが社会課題に取り組む「シビックテック」について、その基本概念や歴史的背景、政府・自治体との関係性、オープンデータの活用法などを学際的に学んだ。協働による課題発見・解決、プロトタイピング、コミュニティ形成のプロセスを通じて、実践的な知識と手法を習得。参加者自身が「自分ごと」として社会課題に関わる態度と能力を養うことを目的としている。具体的には、この講座は10回の講義をとおして受講者をグループに分けて、グループごとにプロジェクトを企画して、最終講義において各グループがプロジェクト内容を発表するという形式になります。



講義

第1回 5/14(水)・イントロダクション

デジタル空間社会連携研究機構長／空間情報科学研究センター センター長／シビックテック・デザイン学創成寄付研究部門 部門長 関本義秀教授

第2回 5/21(水)・シビックテックとは～シビックテックの概要と経緯

武蔵大学 社会学部 メディア社会学科 教授／東京大学 シビックテック・デザイン学創成寄付研究部門 客員教授 庄司昌彦教授

第3回 5/28(水)・政府・自治体の役割と市民の参加

早稲田大学・政治経済学術院・教授／東京大学 シビックテック・デザイン学創成寄付研究部門 客員教授 稲継裕昭教授

第4回 6/4(水)・対話のデザイン（作りあうことと分かりあうこと）

東海大学 教養学部 教授／東京大学 シビックテックデザイン学創成寄付研究部門 客員研究員 富田誠教授

第5回 6/10(火)・シビックテックを支えるオープンデータ・オープンソース

駒澤大学文学部 地理学科 地域文化研究専攻 准教授／東京大学 シビックテック・デザイン学創成寄付研究部門 特任准教授 瀬戸寿一准教授

第6回 6/18(水)・参加のプロセスと実践

東京大学 未来ビジョン研究センター 客員研究員 佐々木一先生

第7回 6/25(水)・中間報告

東京大学 シビックテックデザイン学創成寄付研究部門 特任研究員

第8回 7/2(水)・コミュニティの形成①

名古屋工業大学 情報工学類 知能情報分野 教授／名古屋工業大学 コミュニティ創成教育研究センター センター長／東京大学 空間情報科学研究センター シビックテック・デザイン学創成寄付研究部門 特任教授 白松俊教授

第9回 7/9(水)・コミュニティの形成②

名古屋工業大学 情報工学類 知能情報分野 教授／名古屋工業大学 コミュニティ創成教育研究センター センター長／東京大学 空間情報科学研究センター シビックテック・デザイン学創成寄付研究部門 特任教授 白松俊教授

第10回 7/16(水)・最終発表・評価会

デジタル空間社会連携研究機構長／空間情報科学研究センター副センター長／シビックテックデザイン学創成寄付研究部門 部門長・関本義秀教授、東京大学大学院情報学環・准教授／東京大学 シビックテックデザイン学創成寄付研究部門 副部門長 澁谷遊野准教授 各講師の先生方



受講しての感想

各分野を代表する一流の講師陣による講義を短期間で受講できる貴重な機会であり、毎回わくわくしながら受講させていただきました。これほど多彩な教授陣から直接学べる機会はめったにないことであり、大変有意義でした。

また、シビックテック（テクノロジーを活用して市民が主体的に地域課題を解決する取り組み）について、多角的な視点から学ぶことができ、今後の自身のシビックテック活動にも大いに活かせると感じました。

講座内容は、講師による一方的な講義形式にとどまらず、毎回、参加者がグループワークに取り組むという実践的な構成でした。実際に手を動かして課題に挑むことで、より深い理解と実践力を得ることができました。

さらに、講座の最終日には、グループで立ち上げたプロジェクトを公開発表するという課題が設けられており、ITエンジニア、市民活動家、企業の管理職、学生、議員など多様な背景を持つメンバーとともに、対話と協働を重ねながらプロジェクトを推進しました。

このプロジェクトについては、講座修了後も引き続き取り組んでおり、グループの仲間とは現在も連絡を取り合っています。連絡手段としては、東京大学が講座終了後も利用可能な形で公開してくださっている「Discord（ディスコード）」というオンラインプラットフォームを活用しており、今後も協働を継続し、プロジェクトの実装・社会実装にまでつなげていきたいと考えています。